

政府高官の核兵器保有発言に抗議し、 非核三原則の厳守を求める 高校生緊急アピール

私たち高校生平和ゼミナールは、核兵器と戦争をなくし、全ての人が尊重される平和な世界の実現をめざして学習し行動しています。

私たちは、日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）や被爆者の皆さんとの協力を得ながら、その体験や願いを学ぶとともに、唯一の戦争被爆国である日本が核兵器禁止条約に署名・批准することを求める高校生署名運動などを通じて、核兵器のない世界の実現にむけて努力してきました。

政府高官の核兵器保有発言は、そのような努力をしている高校生の願いを真っ向から否定するものであり、日本の平和憲法と「国是」とも言われている「非核三原則（核兵器を持たない、作らない、持ち込ませない）」や、政府が掲げてきた「核兵器のない世界」をめざすNPT（核不拡散条約）体制をも根底から覆すものです。

日本被団協はこの発言に対して「被爆者の存在を無視し、核戦争を容認するものであり、絶対に許すことはできない」と批判しました。私たちはこの考えに強く共感します。

被爆地広島はもとより、全国の平和を求める高校生は政府高官のこの発言を絶対許すことができません。特に沖縄の生徒は、復帰時に結ばれた密約の中に「有事の際の核持ち込み」があるため、「万が一軍事衝突がおきても、本土に被害が及ばないように沖縄で食い止め、かつての沖縄戦のように捨て石にしようと考えているのではないか」と不安を感じています。

私たちは強く抗議するとともに、発言を撤回して非核三原則の厳守を明言し、被爆者や戦争体験者の思いをきちんと受け止め、日本政府が核兵器廃絶の先頭に立つことを強く要望します。

また、私たちは、今回の政府高官発言が自分たちの将来に深く関わる問題であることをあらためて認識し、学習し、考え、平和のために意見表明することを全国の高校生に呼びかけます。

以上

2025年12月27日

埼玉高校生平和サークルピースウィング
東京高校生平和ゼミナール
エバーグリーン静岡
福井高校生平和ゼミナール
愛知県高校生平和ゼミナール
京都高校生平和ゼミナール
広島高校生平和ゼミナール有志
沖縄高校生平和ゼミナール

